令和3年度 山形県における一戸建て住宅の省エネ対策等に関する調査票

会社名	記入者:役職	氏名
住 所		電話番号

以下の中で、当てはまるものに図を入れて、材質等をご記入ください。

1 2021年(1月~12月)に着工した新築一戸建て住宅で、最も多く使われた断熱・気密仕様

住宅の建設地域	□3地域 □4地域 □5地域						
住宅の構造	□木造	□木造(□在来軸組工法 □枠組壁工法 □その他) □鉄骨造 □RC造					
外壁の断熱方法	□充填	[断熱工法 [□外張断熱工法 □充填断熱+付	加断熱工法			
床・基礎の断熱方法	□床断	·	□基礎外側断熱 □基礎内側断熱	!			
断熱材の種類と厚さ	天井		材 質	密度•種類	厚さ		
(材質の記入例) ・高性能グラスウール ・グラスウール	屋根		材質	密度・種類	mm 厚 さ		
ビーズ法ポ゚リスチレンフォーム押出法ポ゚リスチレンフォームなど	壁		材 質	密度•種類	mm 厚 さ		
			7月	田及「宝魚			
※グラスウールを使用されている場合は、「防湿フィルム付き」か	床		材質	密度・種類	mm 厚 さ		
どうかもご記入ください。					mm		
(密度種類の記入例) 16K、1 号、A 種	基礎		材質	密度・種類	厚さ		
TOR、I 万、A 俚					mm		
気密層の取り方	□合板や面材、プラスチック系断熱材の継ぎ目に気密テープを張る □耳付き袋入り断熱材に付属する防湿フィルムを重ねてタッカーで留める □気密テープは張らず、合板等を下地のある部分で継いだり、実加工の合板等を継ぐ □別張りで防湿フィルムを連続させる □その他()						
開口部の断熱仕様 (複数の窓仕様がある	窓サ ッシ	形状	形状				
場合は、該当するものす べてに ☑ を入れてくだ さい)	•	材質	□金属製 □金属製熱遮断構造 □木製 □木又はプラスチック				
2(1)	窓ガ ラス	- ガラフ輝					
		中間層	mm				
		封入ガス	□空気 □アルゴン □クリプト	ン □真空ガラス			
	玄関ドア		□木製(扉が断熱積層構造) 態断構造パネル □金属製熱遮断構造	告枠と断熱フラッ ミ	/ュ構造扉		
壁と天井又は屋根との 取合部の措置	□乾燥木材による気流止め □合板による気流止め □先張り防湿フィルムよる気流止め □気密テープによる気密 □特にしていない □その他()						
外皮平均熱貫流率 UA 値	□U _A 値を計算している (W/(m³・K)) □外皮の仕様基準で判定している □計算 (判定) していない						
一次エネルギー消費量	□エネルギー消費性能計算 Web プログラムで計算している (BEI=) □設備の仕様基準で判定している □計算 (判定) していない						
気密測定	□測定	こしている(Cd	値の実測結果 c㎡/㎡)	□測定してレ	ない		

2 新築一戸建て住宅の着工実績の内容(着工数)

2 新築一戸建て	C住宅の着工実績の内容(<u>着工数</u>)	
		2021年1月~12月
着工数	総着工数	
	うち3地域	
	うち4地域	
	うち5地域	
補助金等の活	フラット35利用棟数	
用	フラット358利用棟数	
	ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)支援事業利用棟数	
	地域型住宅グリーン化事業利用棟数	
	県の「山形の家づくり利子補給」利用棟数	
省エネルギー	Web プログラムによる一次エネルギー消費性能の計算棟数	
性能	平成28年省エネルギー基準該当棟数	
	低炭素住宅認定棟数	
	BELS認証登録棟数	
	「やまがた健康住宅」認証制度への申請棟数	
断熱性能	平成 28 年省エネルギー基準における外皮性能該当棟数	
	UA値(外皮平均熱貫流率)の計算棟数	
	U _A 値 0.46[W/(㎡・K)]より大きい棟数	
	UA値 0.34 より大きく 0.46 [W/ (㎡・K)]以下の棟数	
	UA値 0.28 より大きく 0.34[W/(㎡・K)]以下の棟数	
	U _A 値 0.28[W/(㎡・K)]以下の棟数	
	気密測定の実施棟数	
暖房設備	電気蓄熱暖房機を導入した棟数	
	電気温水式暖房(ヒートポンプ式)を導入した棟数	
	電気床暖房(ヒーター式)を導入した棟数	
	冬期暖房使用を想定したエアコンを導入した棟数	
	石油温水式暖房を導入した棟数	
	ペレットストーブを導入した棟数	
	薪ストーブを導入した棟数	
換気設備	熱交換換気システム(壁付け式)を導入した棟数	
	熱交換換気システム(ダクト式)を導入した棟数	
給湯設備	エコキュート(ヒートポンプ式電気温水器)を導入した棟数	
	電気温水器(従来型ヒーター式)を導入した棟数	
	エコジョーズ(高効率ガス給湯器)を導入した棟数	
	エコフィール(高効率石油給湯器)を導入した棟数	
1 88 1 1	エコワン(ハイブリッド給湯・暖房システム)を導入した棟数	
太陽エネルギ	太陽熱温水器を導入した棟数	
7 0 11 0 = 11 14	太陽光発電を導入した棟数	
その他の設備	エネファームを導入した棟数	
1 30 N A N 30 Mb 30	HEMSを導入した棟数	

上記以外に設備で設置したものがありましたら、機器名と棟数を記載してください。

3 一戸建て住宅の増改築・改装等工事実績(着工数)

	2020年1月		2021年1月
	~12 月		~12月
窓の取替えを行った棟数		ボイラーの取替え実施棟数	
窓ガラス交換(複層ガラス化)実施棟数		県や市町村のリフォーム補助金を	
応及ノベ文換(後層及ノベル)		利用した棟数	
内窓設置(二重サッシ化)実施棟数		国の補助金等を利用棟数	
断熱材の取替え・付加を行った棟数(増		気流止めの工事を行った棟数	
築部分を除く)		大小山上のシン上寺で11つに1米数	

別紙 1 (任意)

令和3年度 調査票(断熱仕様が最も高性能な住宅)

「2021 年 (1月~12月) に着工した新築一戸建て住宅で最も多く使われた断熱・気密仕様」について、断熱仕様が異なる住宅を着工した場合、「最も多く使われた仕様」とは異なり、なおかつ<u>最も高性能な住宅の断熱・気密仕様</u>について、可能な限り住宅ごとにご記入をお願いします。(記入は任意)

当てはまるものに☑を入れて、材質等をご記入ください。

住宅の建設地域	□ 3 地域 □ 4 地域 □ 5 地域							
住宅の構造	□木造	□木造(□在来軸組工法 □枠組壁工法 □その他) □鉄骨造 □RC造						
外壁の断熱方法	□充填	[断熱工法 [□外張断熱工	法 □充填陽	折熱+付加断	f熱工法		
床・基礎の断熱方法	□床断熱 □基礎外側断熱 □基礎内側断熱							
断熱材の種類と厚さ	天井		材	質		密度•種類	厚	さ
(材質の記入例) ・高性能グラスウール ・グラスウール	屋根		材	質		密度•種類	厚	mm さ
ビーズ法ポリスチレンフォーム押出法ポリスチレンフォームなど	壁			質		密度•種類	厚	mm さ
			1.3			田人 匡从		
※グラスウールを使用されている場合は、「防湿フィルム付き」かどうかもご記入ください。	床		材	質		密度・種類	厚	mm 3
とりがもこ記入ください。								mm
(密度種類の記入例) 16K、1 号、A 種	基礎		材	質		密度•種類	厚	さ
Tony 1 37 h in								mm
気密層の取り方	□合板や面材、プラスチック系断熱材の継ぎ目に気密テープを張る □耳付き袋入り断熱材に付属する防湿フィルムを重ねてタッカーで留める □気密テープは張らず、合板等を下地のある部分で継いだり、実加工の合板等を継ぐ □別張りで防湿フィルムを連続させる □その他()							
開口部の断熱仕様 (複数の窓仕様がある	窓サッシ	形状 □一重 □二重						
場合は、該当するものす べてに ☑ を入れてくだ	, ,	材質		□金属製熱遮脚 □木又はプラス]プラスチック :属との複合材		
さい)	窓ガ ラス	ガラブ						
		中間層		mm				
		封入ガス	□空気□	アルゴン 口ク	リプトン	□真空ガラス		
	玄関ドア			扉が断熱積層構 レ □金属製熱		と断熱フラッ	シュ構造	圭扉
壁と天井又は屋根との 取合部の措置	□乾燥木材による気流止め □合板による気流止め □先張り防湿フィルムよる気流止め □気密テープによる気密 □特にしていない □その他(
外皮平均熱貫流率UA 値	□UA値を計算している (W/(m³・K)) □外皮の仕様基準で判定している □計算 (判定) していない							
一次エネルギー消費量	□エネルギー消費性能計算 Web プログラムで計算している (BEI=) □設備の仕様基準で判定している □計算 (判定) していない							
気密測定	□測定している(C値の実測結果 cm²/m²) □測定していない							